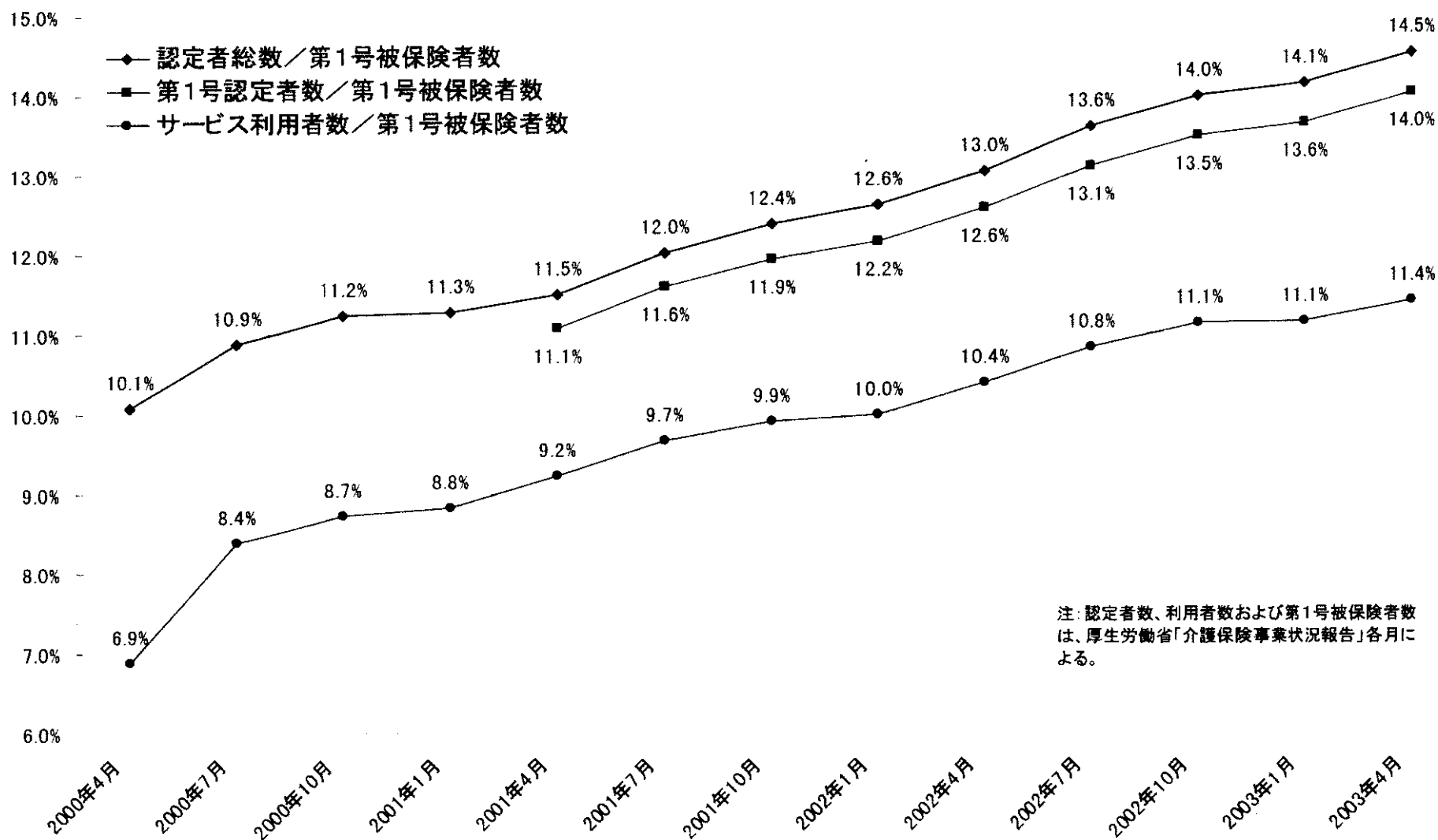


# 要介護認定を考える

- 認定の地域差は何が原因か
- 軽度の認定はどこまで増えるのか
- 加齢によって要介護発現率はどう変わるのか
  - 男女の要介護発現率は違うのか

# 認定率・利用率は増大し続けている

認定率・利用率の推移



# 軽度の認定者が大きく伸びている

要介護度別認定率の推移

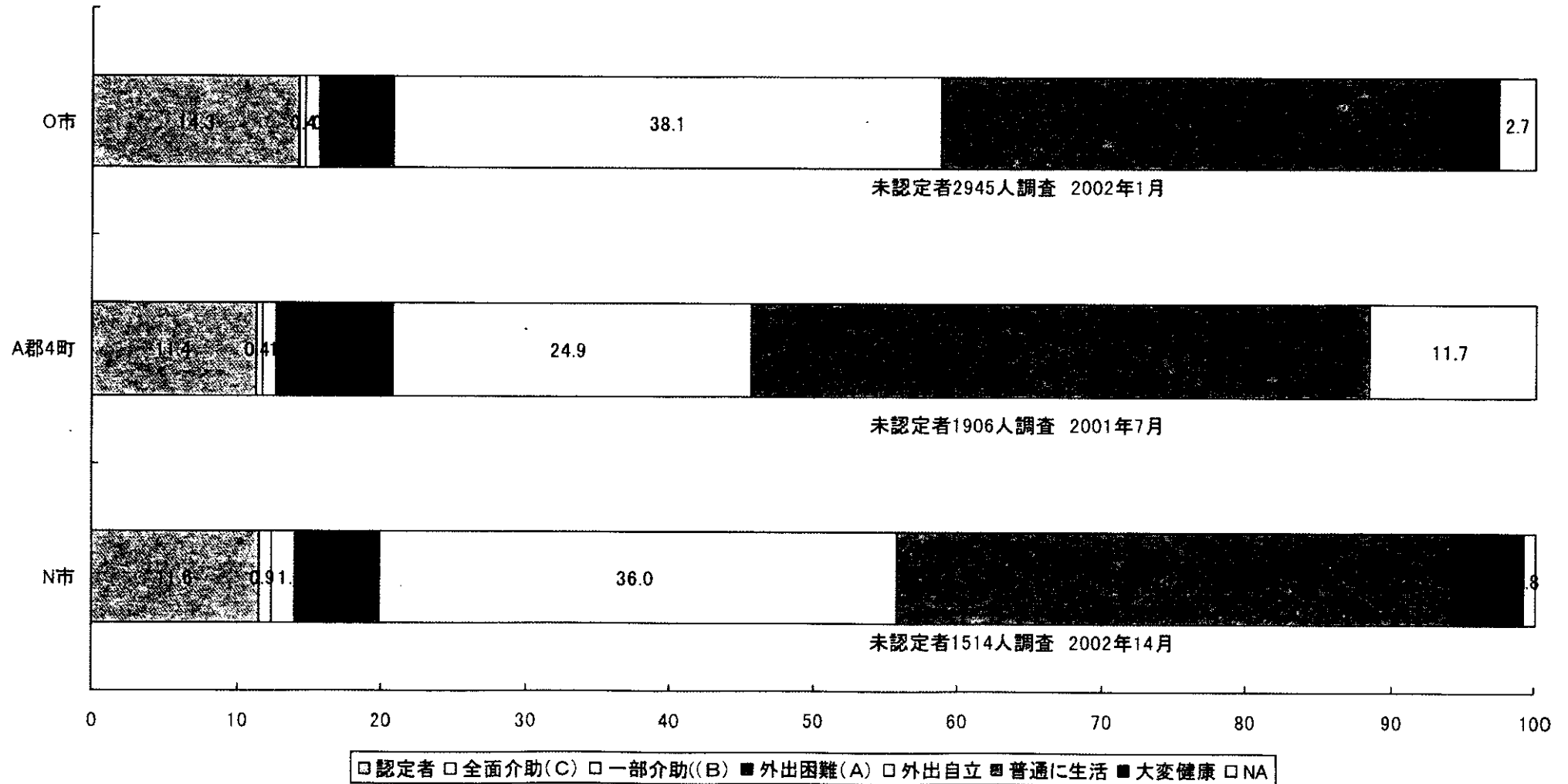
5.0%  
4.5%  
4.0%  
3.5%  
3.0%  
2.5%  
2.0%  
1.5%  
1.0%

注：要介護度別認定者数は国保中央会報告、第1号被保険者数は、厚生労働省「介護保険事業状況報告」各月による

	要支援等	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5
2001年10月	1.6%	3.6%	2.4%	1.7%	1.7%	1.7%
2002年1月	1.6%	3.7%	2.4%	1.7%	1.7%	1.7%
2002年4月	1.7%	3.9%	2.5%	1.7%	1.7%	1.7%
2002年7月	1.8%	4.1%	2.6%	1.8%	1.8%	1.7%
2002年10月	2.0%	4.3%	2.6%	1.8%	1.8%	1.8%
2003年1月	2.0%	4.4%	2.7%	1.8%	1.8%	1.8%
2003年4月	2.1%	4.5%	2.7%	1.8%	1.8%	1.8%

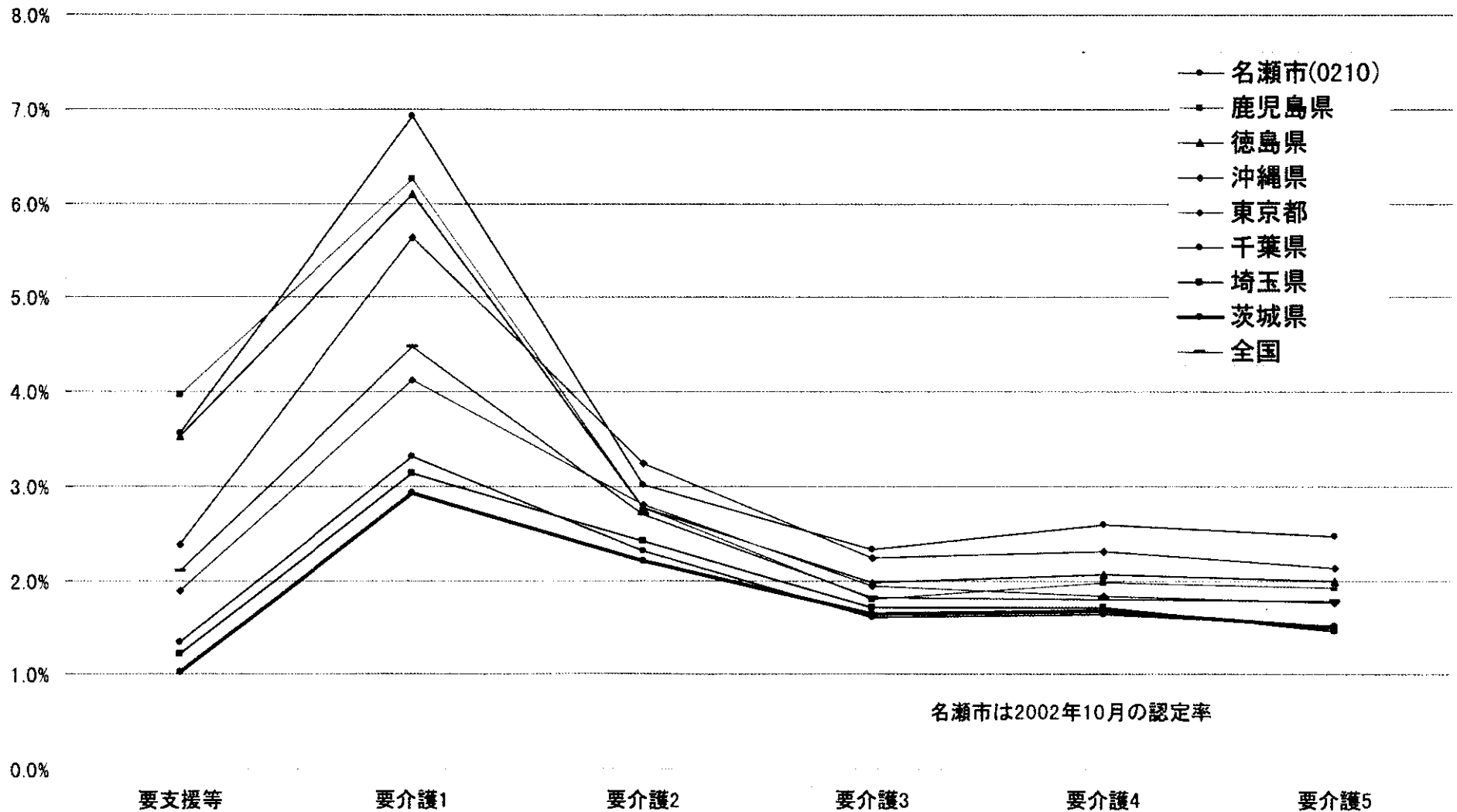
# 要支援・要介護該当は高齢者の約2割か

要介護認定者数と未認定者の状態



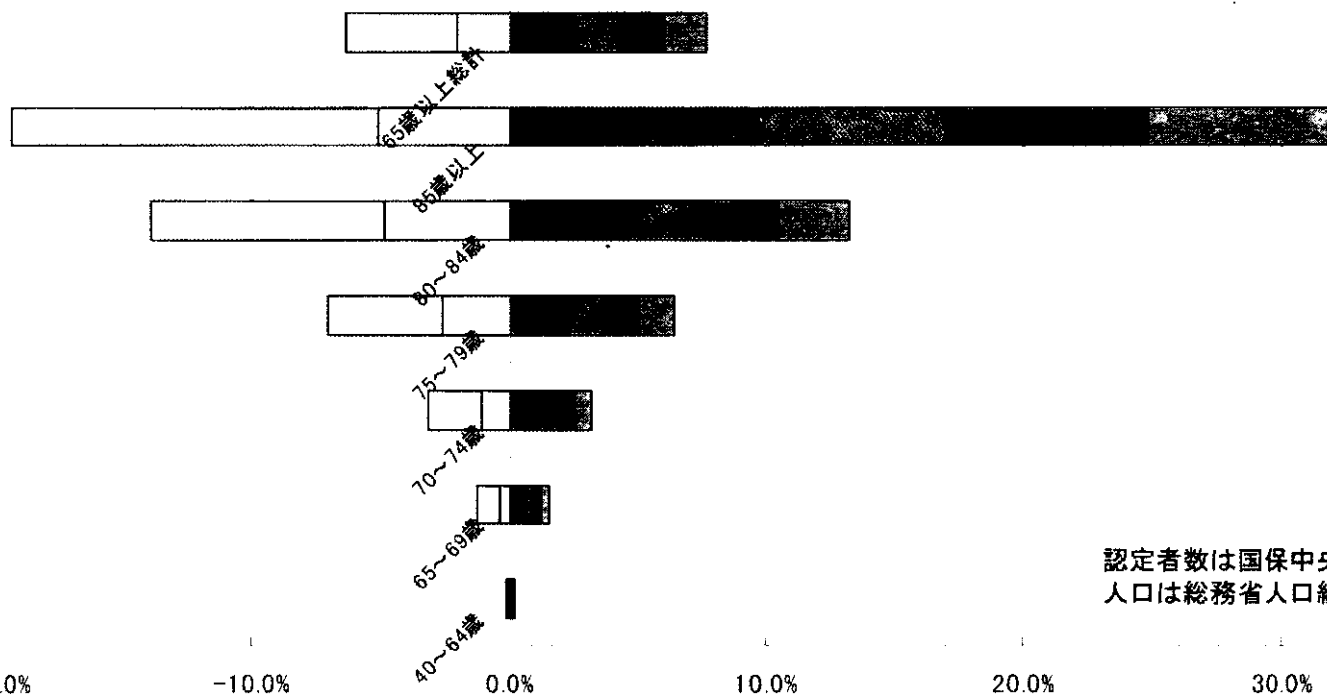
# 認定類型－北関東型、九州型、南島型、平均型

要介護度別認定率の比較 認定率上位3県下位4県、東京都 2003年4月



# 高齢化とともに認定率は急増していく

年齢階層別認定率 2003年4月

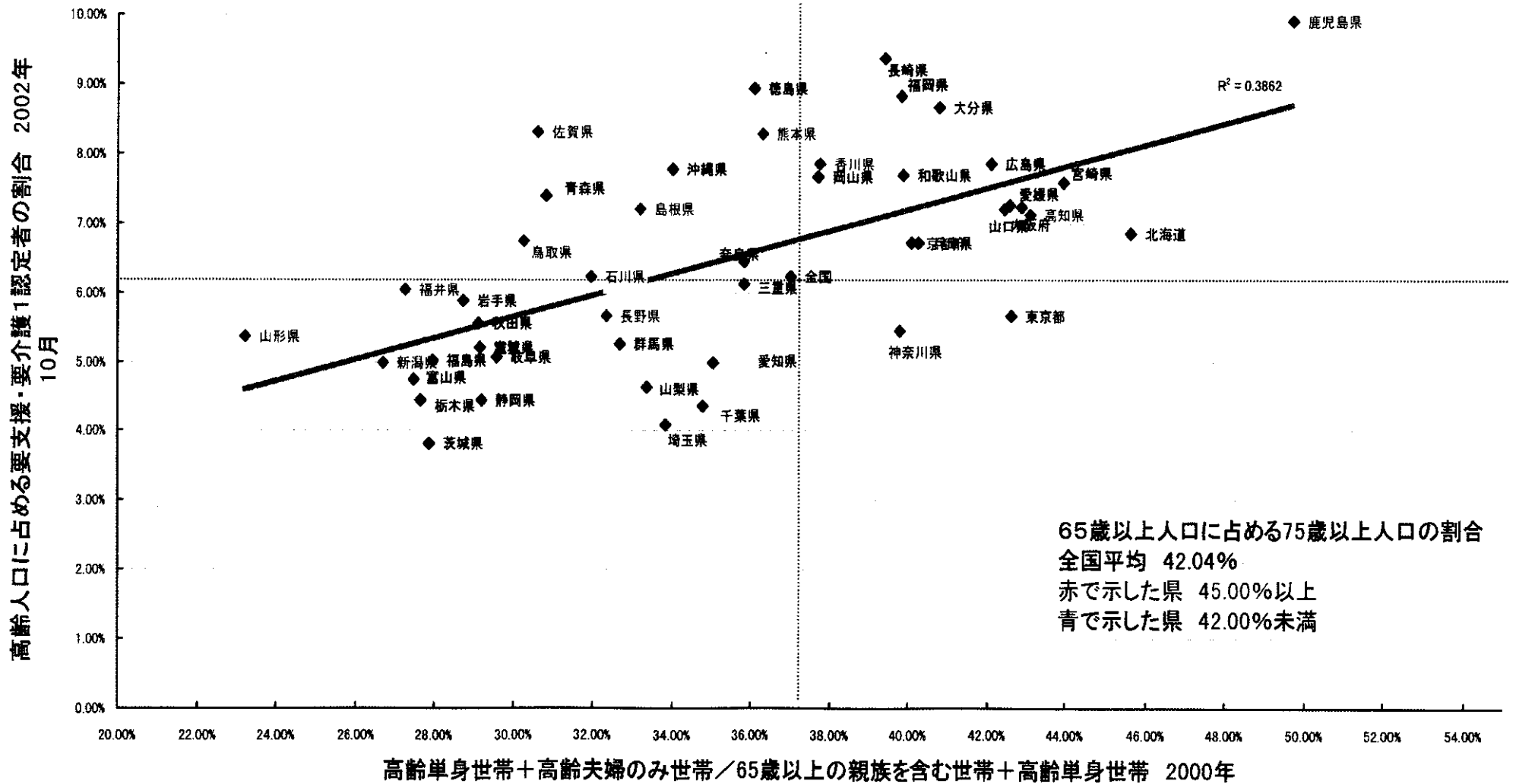


認定者数は国保中央会、年齢別人口は総務省人口統計による。

	40~64歳	65~69歳	70~74歳	75~79歳	80~84歳	85歳以上	65歳以上総計
要介護5	0.0%	0.3%	0.7%	1.4%	2.8%	7.3%	1.7%
要介護4	0.0%	0.3%	0.7%	1.3%	2.8%	7.9%	1.7%
要介護3	0.0%	0.3%	0.7%	1.4%	3.0%	7.3%	1.7%
要介護2	0.1%	0.6%	1.2%	2.3%	4.6%	9.7%	2.5%
要介護1	-0.1%	-0.8%	-2.0%	-4.4%	-9.0%	-14.2%	-4.3%
要支援等	0.0%	-0.4%	-1.1%	-2.6%	-4.8%	-5.1%	-2.1%

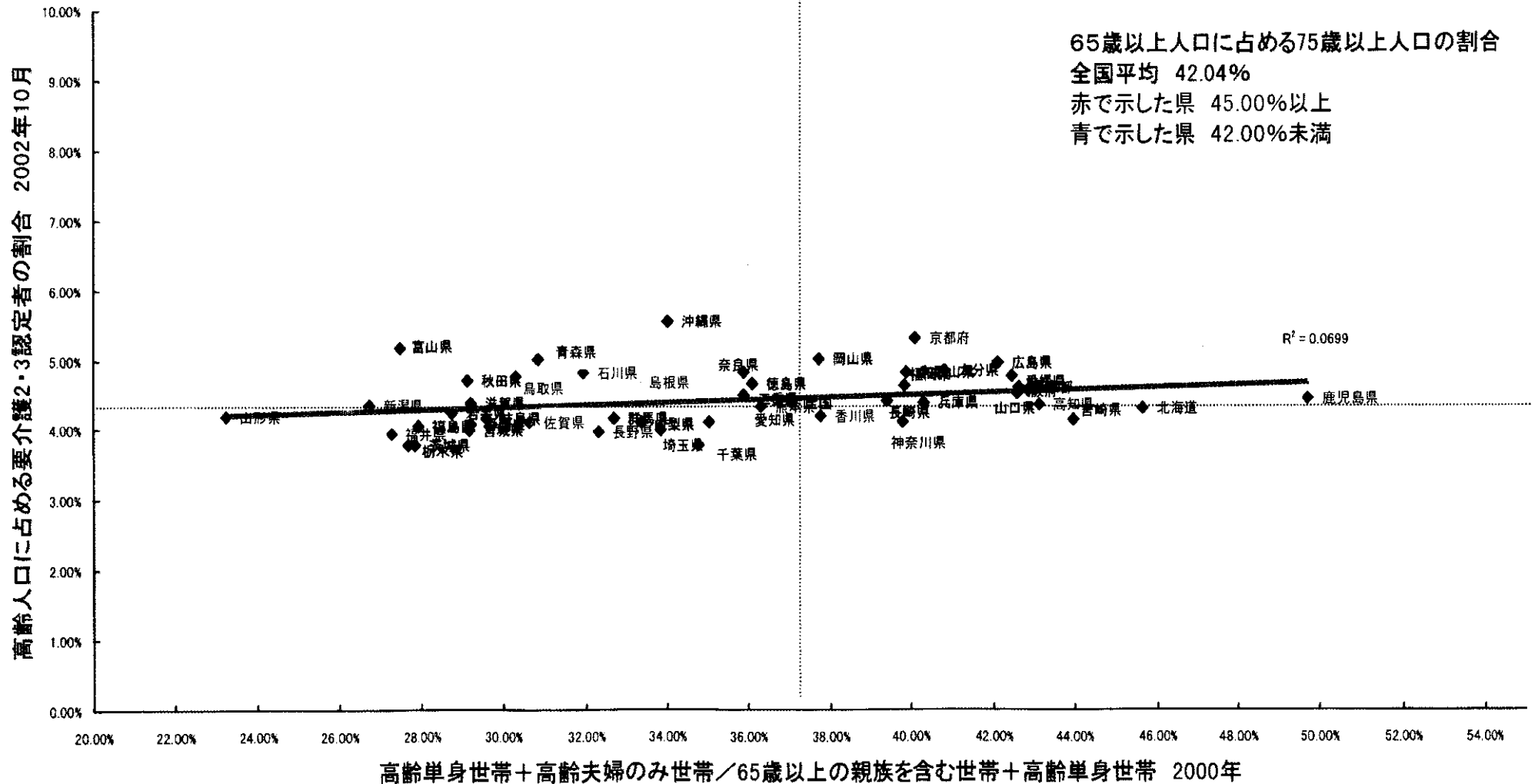
# 高齢単身・夫婦のみ世帯は軽度の認定申請率が高い

高齢単身・夫婦のみ世帯の割合と要支援・要介護1の認定率



# 中度の認定申請率はあまり変わらない

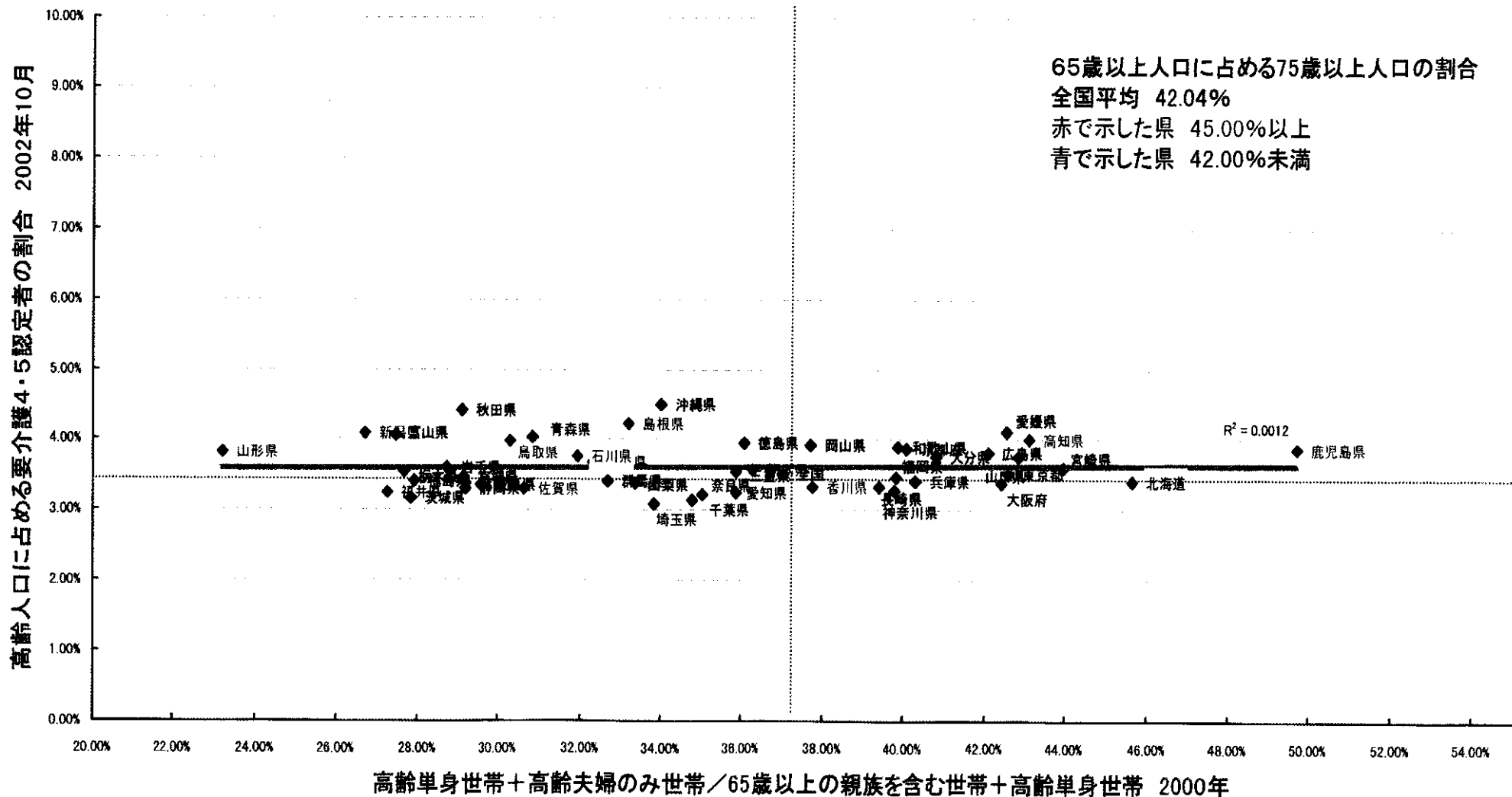
高齢単身・夫婦のみ世帯の割合と要介護2・3の認定率





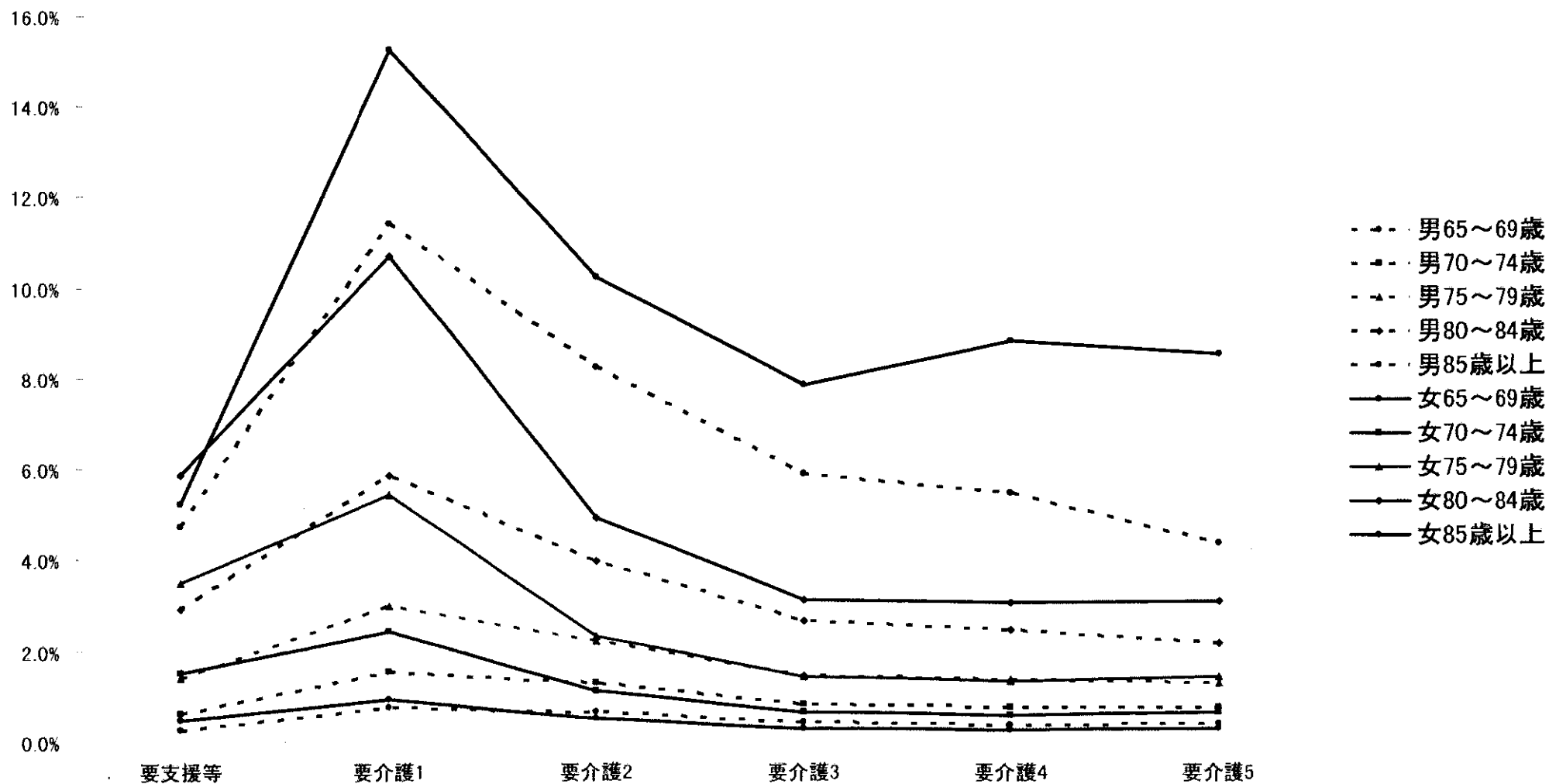
# 重度の認定申請率はほぼ全国同一

高齢单身・夫婦のみ世帯の割合と要介護4・5の認定率



# 認定率は加齢とともに男女格差が大きくなる

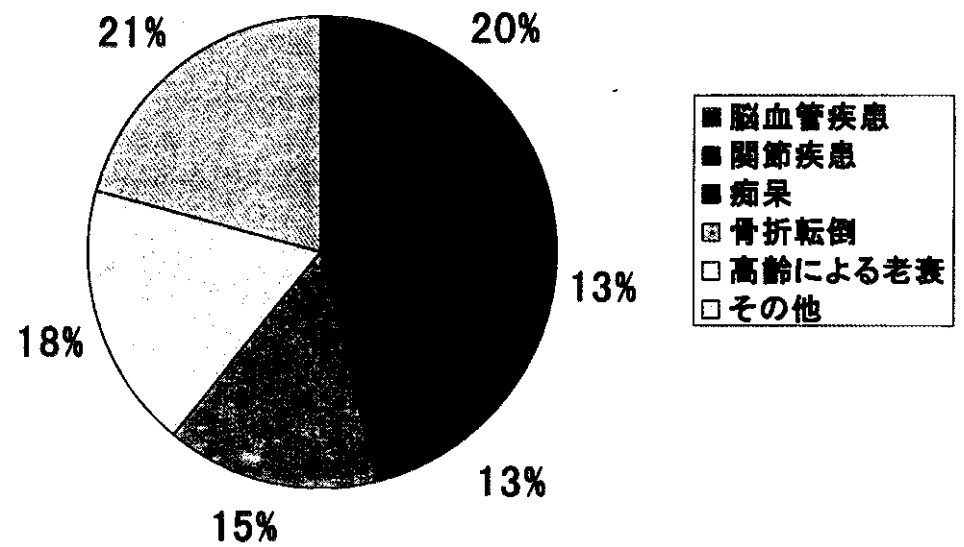
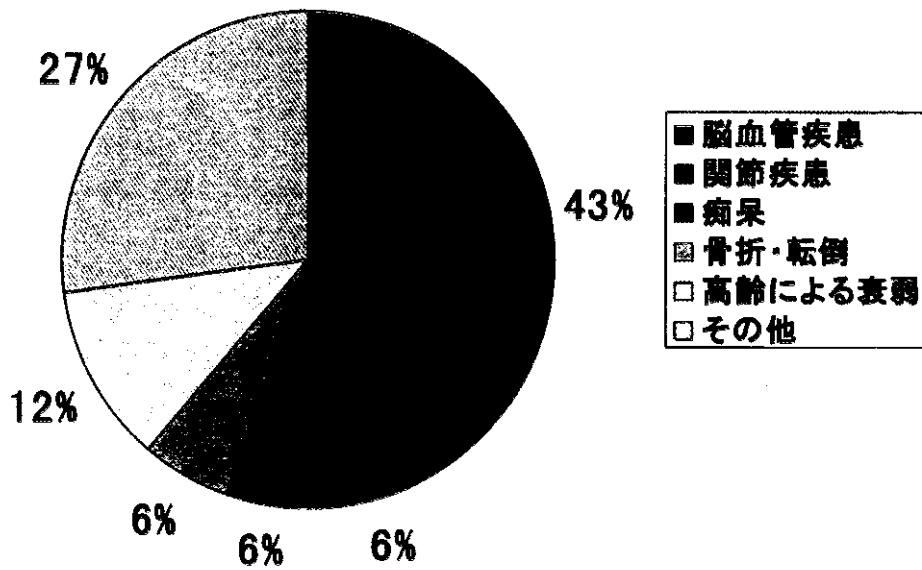
男女別・要介護度別認定率の比較 2003年4月



# 介護が必要となった原因は何か

男性

女性

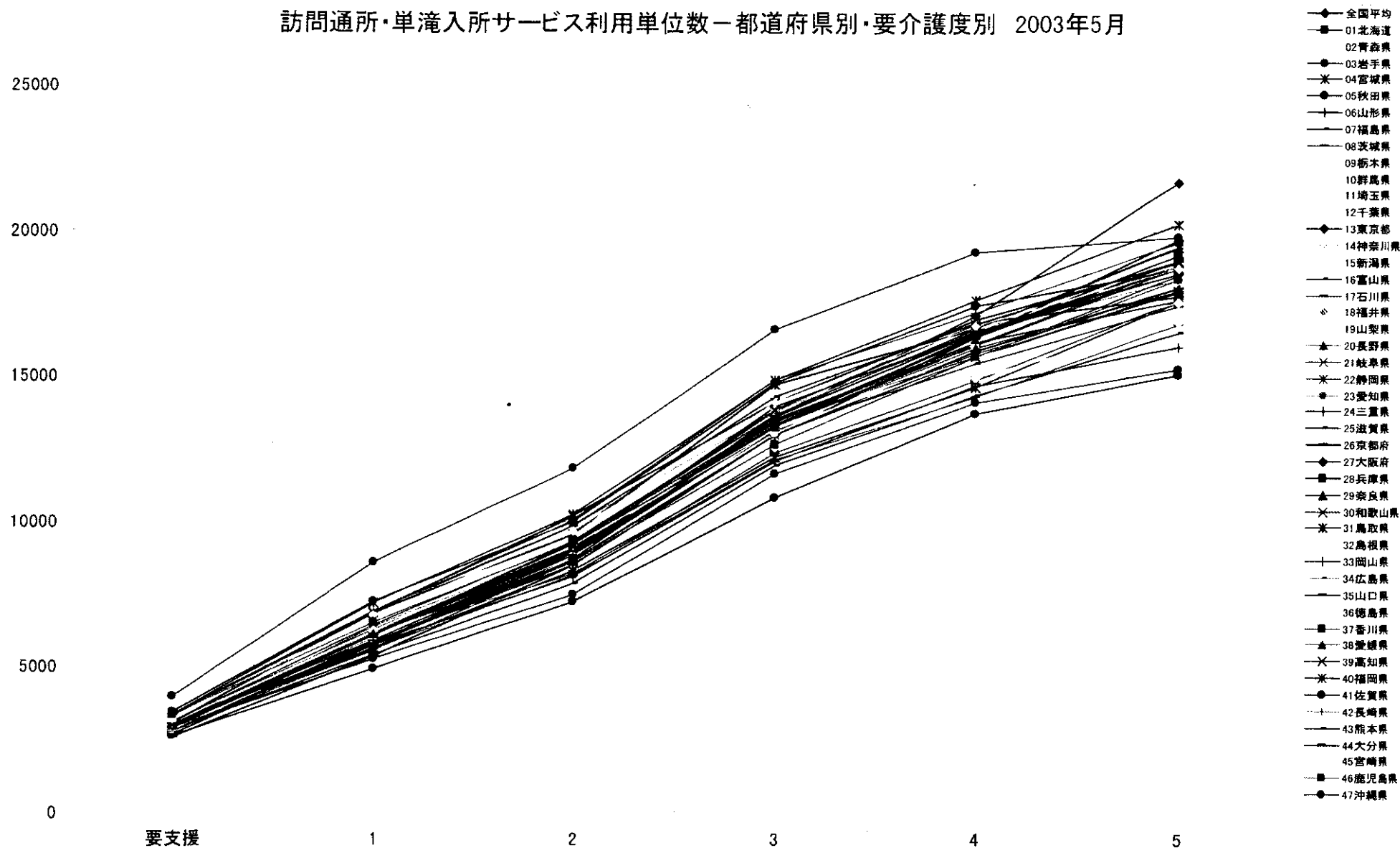


# 介護保険の常識のウソ①

- 認定は不正確・不公平なのだろうか

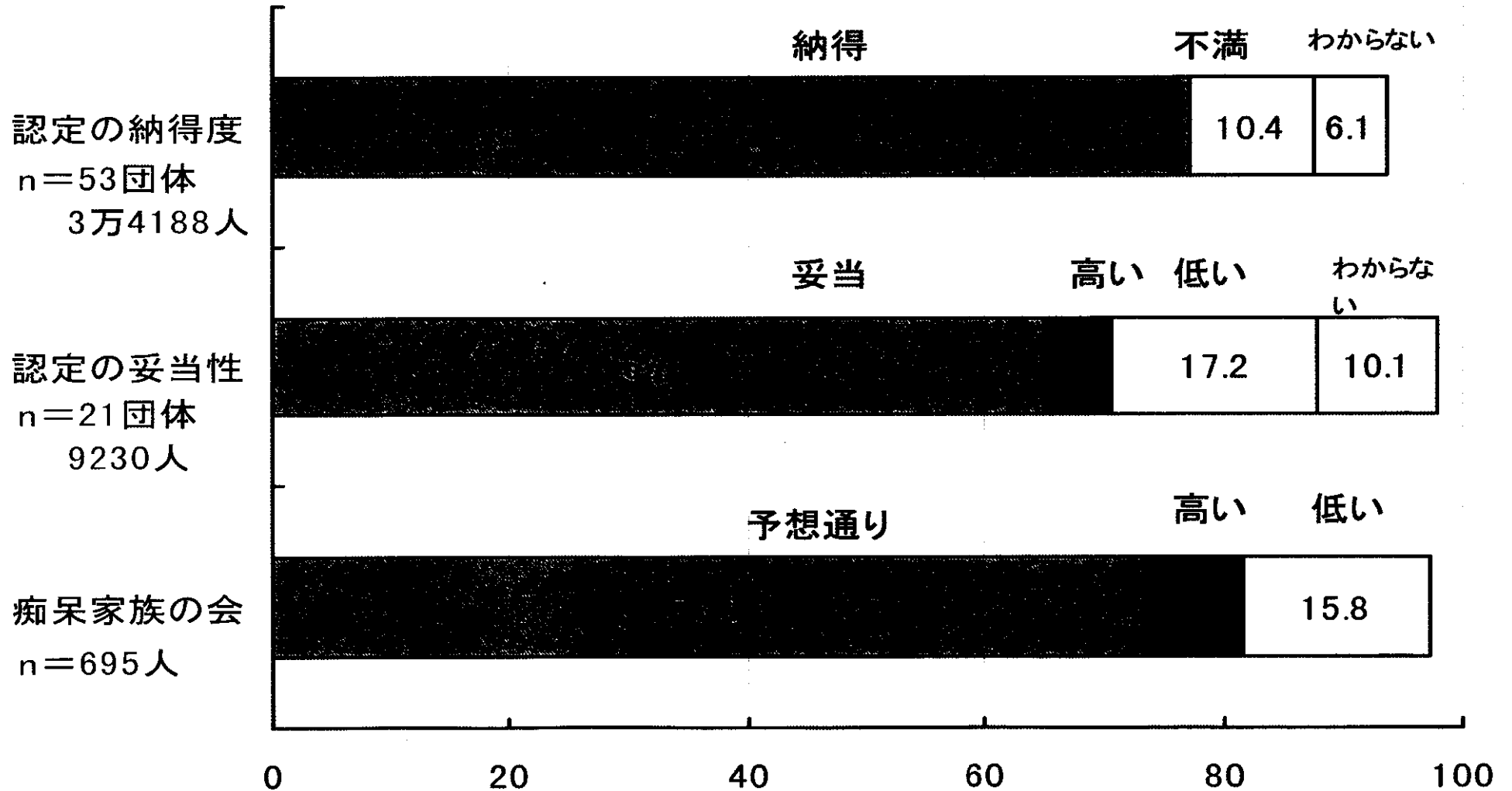
# 予想以上に認定はニーズを反映している

訪問通所・単滝入所サービス利用単位数－都道府県別・要介護度別 2003年5月



# 8割近くが認定結果に納得

要介護認定の納得度・妥当性

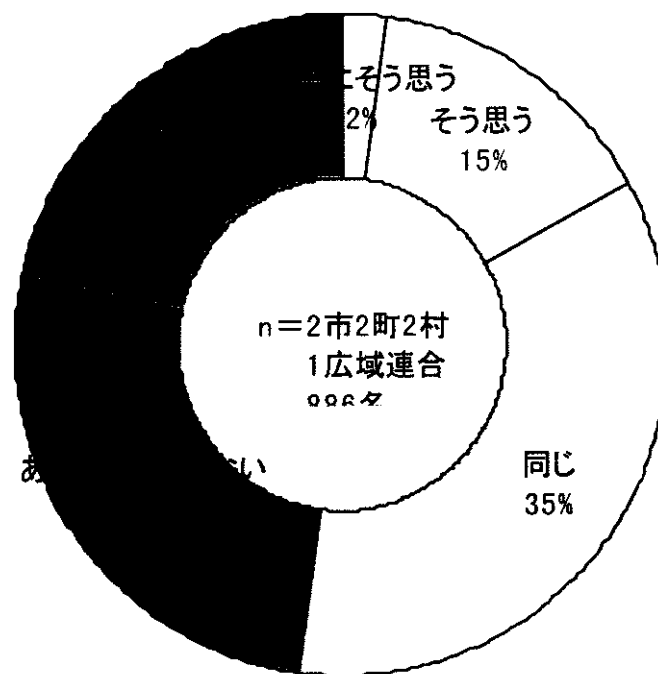


## 介護保険の常識のウソ②

自己負担はサービス利用を抑制しているのか

# 在宅サービスの利用料負担は増加している

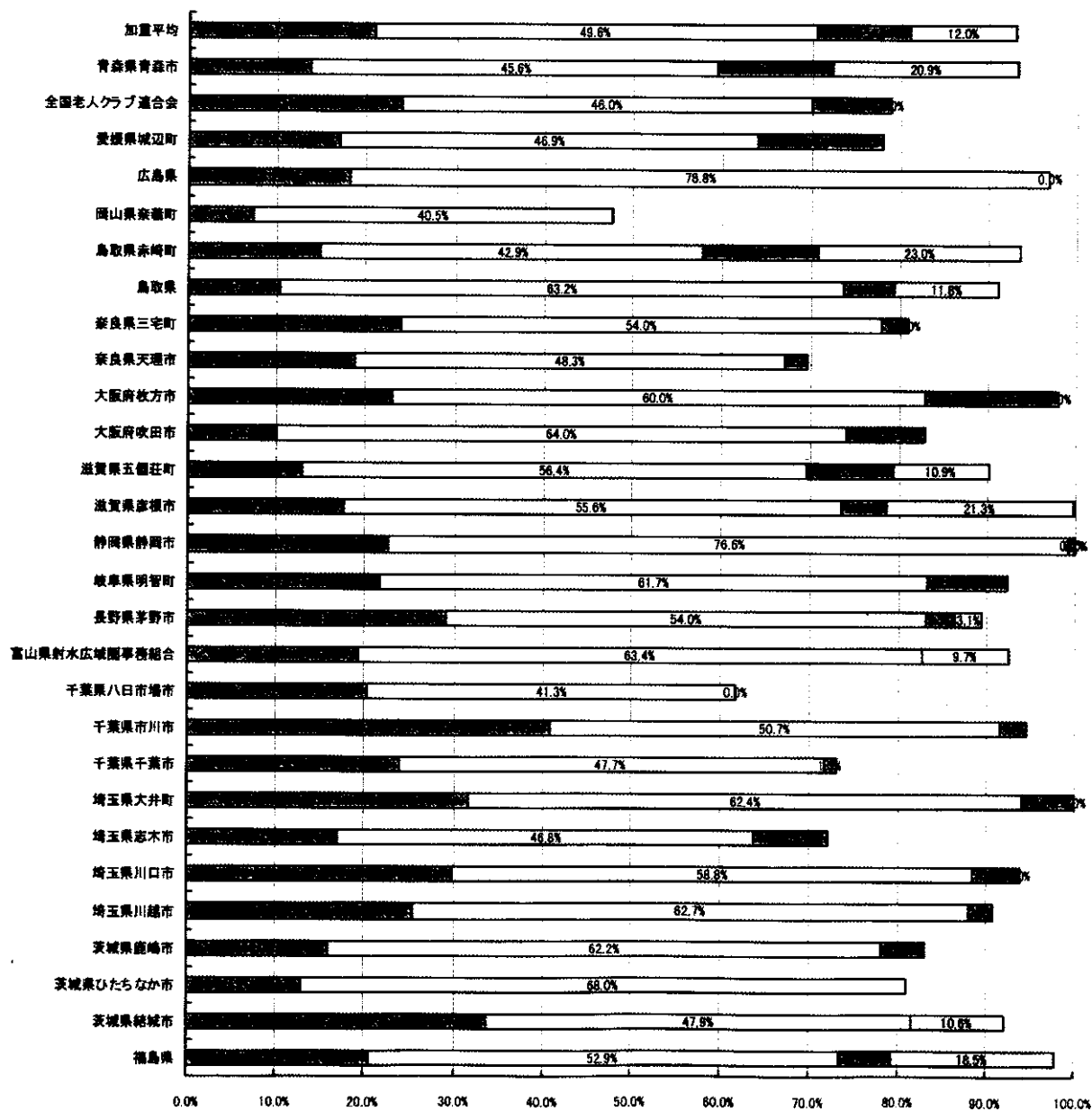
介護に関する金銭的負担は軽減したか



資料出所: 医療経済研究機構「介護保険による効果の測定に関する研究」



利用料の負担感 単位: %



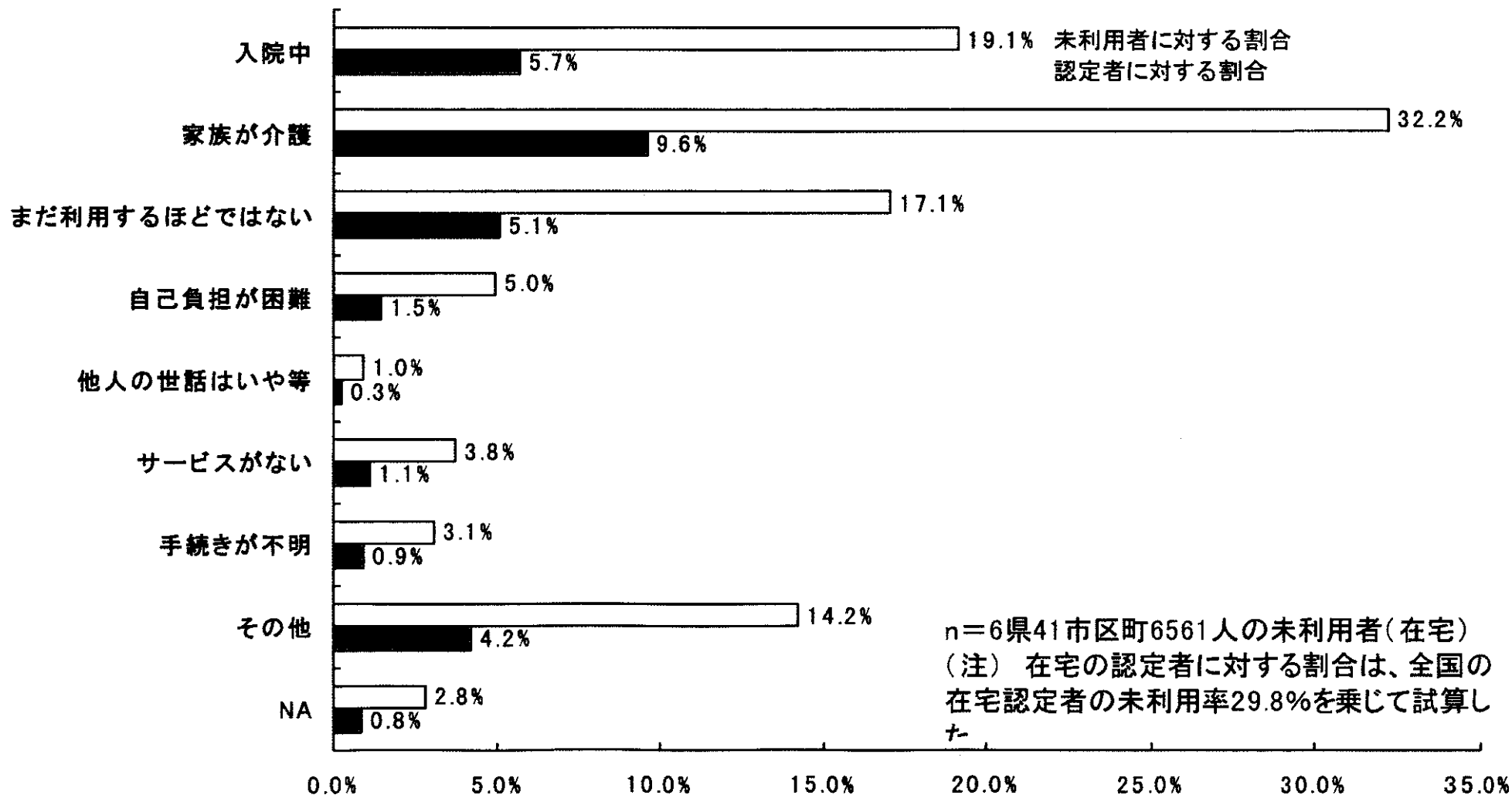
■ 高い □ 適当 ■ 安い □ 分からない

## 利用料の負担感

- 高いが2割
- 妥当が5割
- 安いが1割

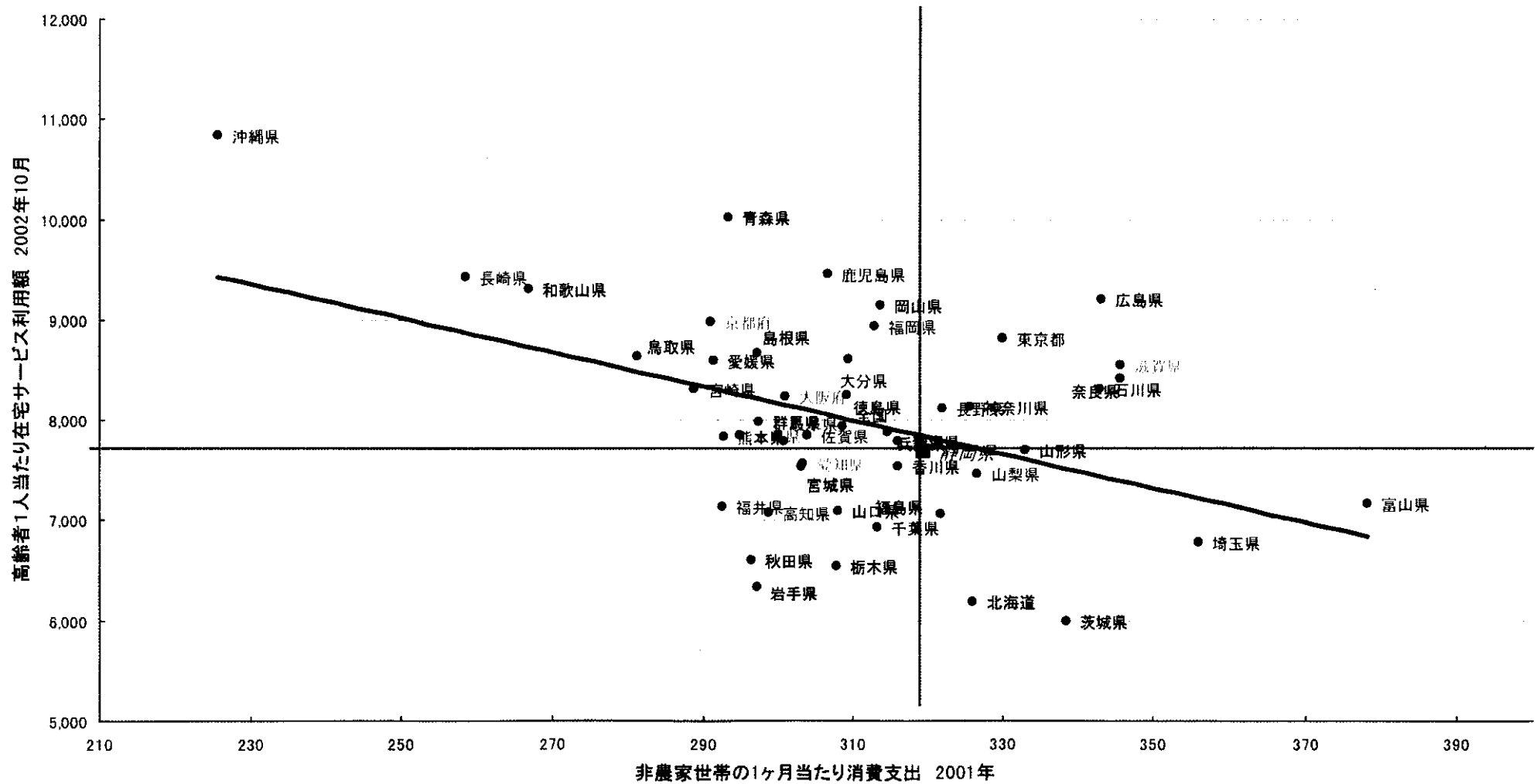
# サービス未利用の理由 まだサービスが必要ない5割 入院中が2割

介護保険給付サービス未利



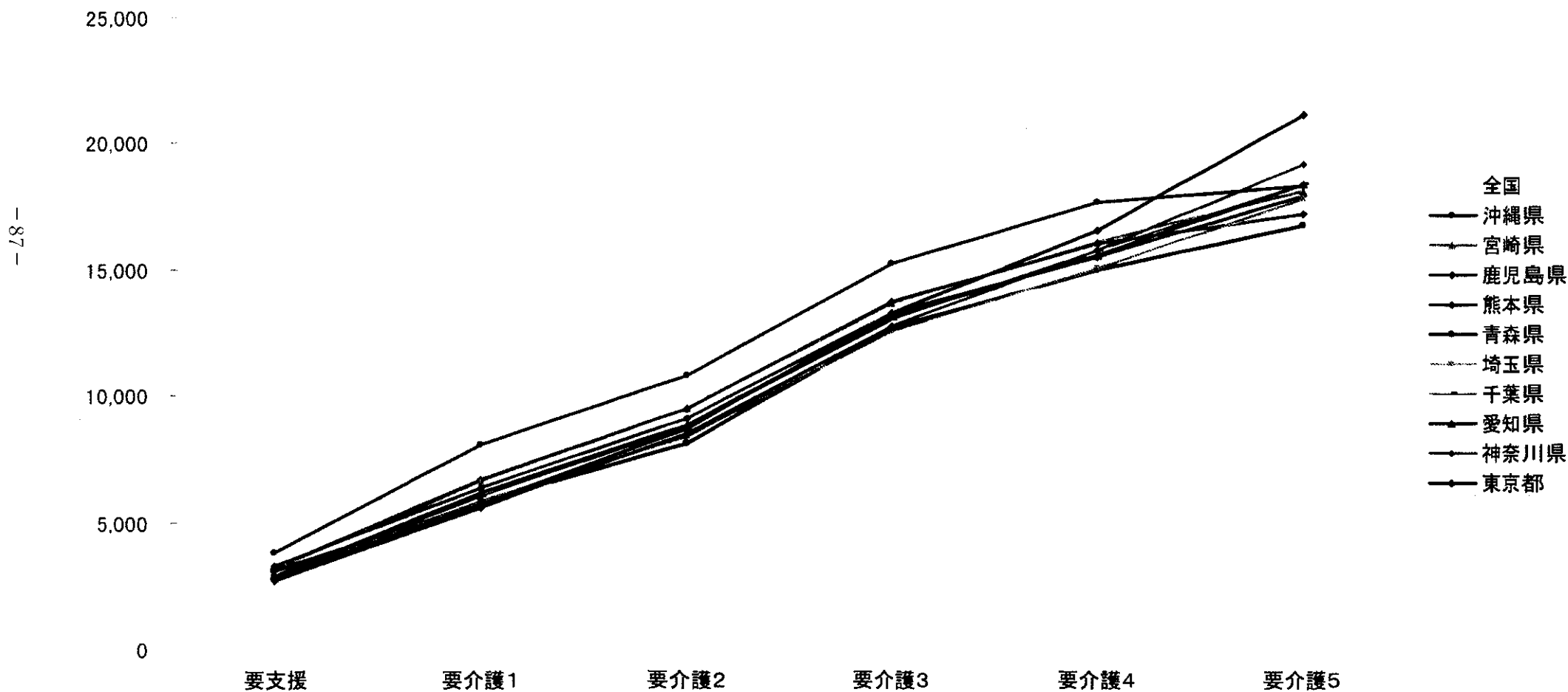
# 所得の低い地域のほうが在宅サービス利用は高い

非農家世帯の消費支出と高齢者1人当たり在宅サービス利用額 2002年10月



# 要介護度別利用額で見ても所得との相関関係は低い

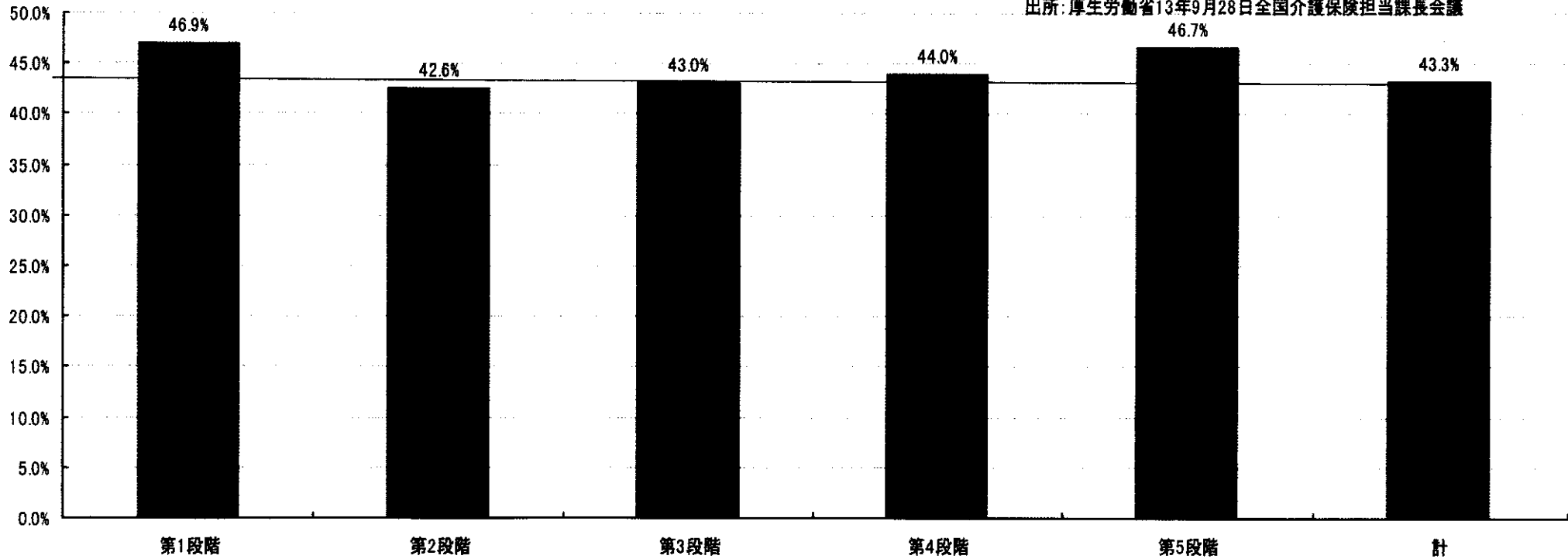
要介護度別在宅サービス利用単位数の比較 2003年4月  
個人所得指数上位5県下位5県・全国平均



# 所得水準別に見た在宅サービス利用は大きな格差はない

支給限度額に対する利用割合 2001年8月30日 n=42保険者8万1000人

出所: 厚生労働省13年9月28日全国介護保険担当課長会議



# 日本の在宅サービス利用は決して低くない

介護保険給付額の日独比較 2003年5月

単位:円

360,000

358,300

1ユーロ130円換算で試算

310,000

306,000

260,000

267,500

210,000

194,800

187,724

160,000

165,800

160,908

186,160

110,000

133,220

89,067

119,730

60,000

61,500

60,852

49,920

49,920

29,814

26,650

26,650

53,300

86,450

10,000

要支援

要介護1

要介護2

要介護3

要介護4

要介護5

(40,000)

日本—支給限度額 ●—日本—平均利用額(2003年5月) ◆—独—現物給付限度額 ■—独—現金給付額